

米に関するマンスリーレポート(北陸版)

(令和8年8月号)

1 令和8年産の水田における作付意向について(令和8年6月末時点)

農林水産省では、令和8年産の水田における作付意向(令和8年6月末時点)を公表しました。全国計で、主食用米の作付意向は136.0万ha(前年差-0.7万ha)となり、これを平均的な単収を用いて計算すると生産量は732万トンに相当し、需給見通しで示している711万トンを大幅に上回る水準となることが見込まれます。

北陸4県の主食用米の作付意向は、新潟・石川で減少傾向、富山・福井で前年並みとなっています。

【全国】

【主国】			戦略作物										(万ha)
年 産	主食 用米	酒造 好適 米	備蓄 米	加工 用米	新規 需要米	新市場 開拓用米 (輸出用米等)	米粉 用米	飼料 用米	WCS用稲	麦	大豆	合計	
									稲壳餅粕 飼料用稲				
R 7 年産	136.7	—	—	4.4	10.8	0.9	0.4	4.6	4.9	9.5	7.5	32.1	
R 8 年産 (6月末時点)	136.0	1.8	3.9	4.5	8.5	1.0	0.6	2.6	4.3	8.6	6.8	28.4	
対前年差	-0.7	—	+3.9	+0.1	-2.3	+0.1	+0.2	-2.0	-0.6	-0.9	-0.7	-3.8	

【北陸】

都道府県		主食用米				酒造好適米		備蓄米		戦略作物																	
										加工用米		新規需要米		新市場 開拓用米 (輸出用米等)		米粉用米		飼料用米		WCS用稲 (稲壳・餅粕 飼料用稲)		麦		大豆		合計	
		R7 実績	R8 意向	対前年 実績	R8 意向					R6 実績	R8 意向	R7 実績	R8 意向	R7 実績	R8 意向	R7 実績	R8 意向	R7 実績	R8 意向	R7 実績	R8 意向	R7 実績	R8 意向	R7 実績	R8 意向	R7 実績	R8 意向
新 潟	108.6	104.8	↘	1.7	4.7	4.8	6.6	7.2	4.2	3.1	1.5	1.1	0.7	0.8	1.3	0.7	0.6	0.6	0.2	0.2	3.3	2.8	14.4	13.3			
富 山	33.7	33.4	→	0.7	1.8	1.5	1.3	1.4	2.6	2.4	0.4	0.4	0.3	0.3	1.5	1.2	0.5	0.5	2.9	2.4	3.6	3.2	10.4	9.4			
石 川	22.1	21.3	↘	0.2	0.2	1.5	0.6	0.5	0.4	0.3	0.0	0.0	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	1.1	0.9	0.8	0.7	2.9	2.4			
福 井	23.3	23.5	→	0.5	0.7	0.7	0.8	0.8	1.3	0.9	0.3	0.2	0.1	0.1	0.9	0.5	0.1	0.1	5.0	4.2	0.0	0.0	7.2	5.9			

単位:千ha

令和8年産の作付意向(6月末時点)について詳しくはこちらの二次元コードからご覧ください。

全国の作付意向



北陸4県の作付意向



2 令和7/8年及び令和8/9年の需給見通し

令和8年7月28日に開催された食糧部会では、令和7/8年の需要実績(速報値)や作付意向調査(令和8年6月末時点)を踏まえ令和7/8年及び令和8/9年の需給見通しを示しました。令和9年6月末の民間在庫は263~281万玄米トンと見通しています。

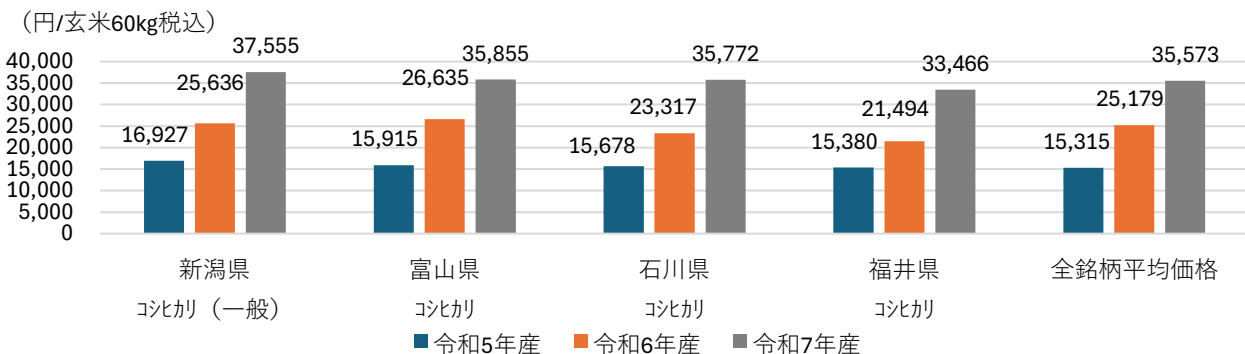
単位:万玄米トン

令和7/8年	令和7年6月末民間在庫量	A	155
	令和7年産主食用米等生産量	B=C+D	747
	うち生産者ふり目幅以上	C	718
	うち生産者ふり目幅未満のうち、主食用への供給見込量	D	29
	令和7/8年政府備蓄米供給量	E	23
	令和7/8年主食用米等供給量計	F=A+B+E	925
	令和7/8年主食用米等需要量	G	683
	令和8年6月末民間在庫量	H=F-G	243

令和8/9年	令和8年6月末民間在庫量	H	243	243
	令和8年産主食用米等生産量	I	711	732
	令和8/9年主食用米等供給量計	J=H+I	954	974
	令和8/9年主食用米等需要量	K	693~711	693~711
	令和9年6月末民間在庫量	L=J-K	242~260	263~281

作付意向調査(令和8年6月末時点)を踏まえた見通し

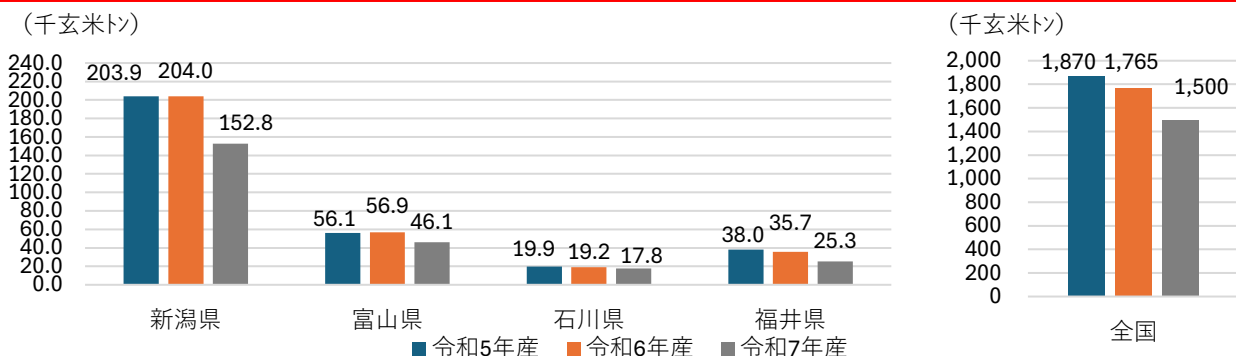
1 米の相対取引価格（令和7年産は出回りから令和8年6月までの平均価格、令和6年産及び令和5年産は出回りから翌年10月までの平均価格）



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。
 2 価格は、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格（運賃、包装代、消費税を含む1等米の価格）を加算平均したものである。
 3 価格に含む消費税は、軽減税率の対象である米穀の品代等は8%、運賃等は10%で算定している。
 4 加重平均に際しては、新潟は受渡地を東日本としているものを、富山、石川、福井は受渡地を西日本としているものを対象としている。
 5 相対取引価格は、個々の契約内容に応じて設定される大口取引等の割引などが適用された価格であり、実際の引取状況に応じて価格調整（等級及び付加価値等（栽培方法等））が行われることがある。
 また、算定に当たっては、契約価格に運賃を含めない産地在姿の取引分も対象としている。
 6 報告対象産地品種銘柄ごとの年産平均価格は、当該報告対象産地品種銘柄の出回りから当該月までの相対取引数量ウェイトで加重平均により算定している（7年産は速報値）。
 7 全銘柄平均価格は、報告対象産地品種銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均により算定している。
 8 令和6年産米の令和7年3月以降の取引は政府備蓄米を含む。

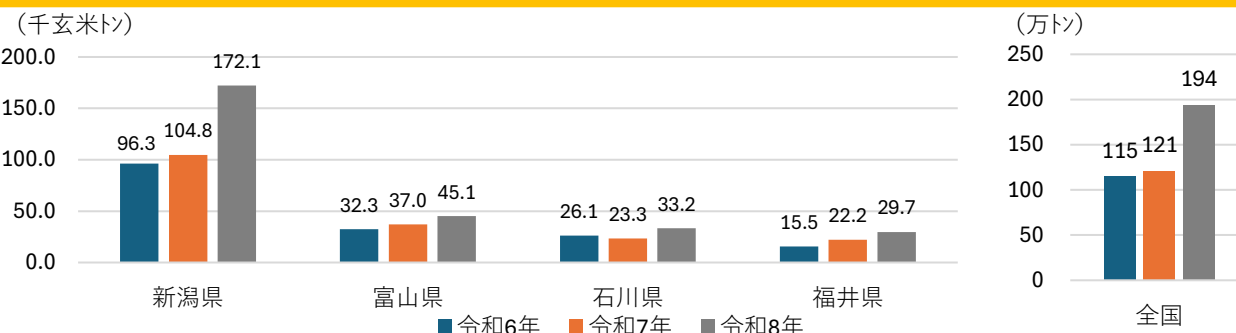
2 米の産地別販売状況（6月末現在）



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。
 2 報告対象米穀は、水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）である。
 3 販売数量は、集荷数量のうち契約のあと実際に卸売業者等に引き取られた数量である。
 4 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。
 5 売り渡した政府備蓄米の数量を含む。

3 産地別民間在庫の推移（6月末現在）



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。
 4 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。
 5 令和7年3月以降には、売り渡した政府備蓄米（入札及び随意契約による売渡し分）の数量を含む。



←もっと詳細な情報をご覧になりたい方は農林水産省HPへ
<https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/mr.html>
 もっと北陸の情報をご覧になりたい方は北陸農政局HPへ→
<https://www.maff.go.jp/hokuriku/>

